

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和7年10月17日
タイトル	じょうずにできたよ！初めての稲刈り！2025
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和7年10月9日（木）福山市東村町にある水土里ネット福山の組合員 廻野明倫（かいのあきのり）さんのほ場で、福山市松永町の学校法人杉原学園 松永幼稚園年長組が稲刈りの農業体験をしました。

稲刈りをするのは5月に田植えをした田んぼで、田植えから4カ月経ち子ども達が一生懸命植えた稲は大きく育ちました。この4か月の間、子ども達は何度も稲の成長を観察に来ており稲刈りを楽しみにしていました。

年長の子ども約65人と「お助けマン」という保護者の有志の方17人が、幼稚園のスクールバス3台で田んぼにやってきました。「お助けマン」は子ども達の稲刈りを手伝ってくれます。

最初に廻野さんから「稲刈りをしたことがある人いますか」と聞かれると、お助けマンの中でも1、2人しか経験者がおられませんでした。

まず廻野さんから「左手で親指が上になるように稲を持ち鎌は手前にひくようにして切る」と安全な鎌の持ち方や刈り取るコツを教えてもらい、2チームに分かれ、お助けマンと子どもが二人一組になって田んぼに入りました。

最初は鎌を見て「こわいよ。」「手が切れちゃうよ。」と怖がっている子どももいましたが、まずはお助けマンが刈ってみて、それから子どもの手に添えて稲を刈ると安心して稲刈りができました。子ども達はすぐに上手にできるようになり、刈っていくうちに楽しくなったようで、ドンドン刈って稲が山盛りになりました。もっともっと稲刈りをしたいところを次のチームに交代しました。



稲刈りに夢中！黙々と刈ります！



刈った稲が山盛り！

稲を刈り終わると今度はコンバインに刈った稲を入れて脱穀します。みんなが山盛りに刈った稲をお助けマンと先生がバケツリレーのように協力してコンバインへ運びました。



子ども達はたくさん刈った稲がドンドン脱穀されていく様子を見て「お米はどこにいったの？」「コンバインにお米が食べられてる！」と言いながら興味津々で見学しました。

脱穀が終わると廻野さんがコンバインで稲刈りをしました。みんなで半日かかった稲刈りが数分で終わり「すごい！」と歓声があがりました。

子ども達は、稲刈りの合間にトンボや燕が飛んでいるのを見て喜んだり、どんぐりを見つけて大事にポケットへしまっていました。

稲刈りを終えた子供たちは「上手にできたよ。」
「また稲刈りしたいな。」と自信に満ちた表情で話してくれました。

最後は子ども達から廻野さんとお助けマンのみなさんに元気一杯大きな声でお礼をいいました。



収穫したお米は、幼稚園で「おにぎり会」を開いてみんなで食べ、希望者には販売するそうです。みんな自分たちが田植えや稲刈りをしたお米を食べるのを楽しみにしているそうです。

初めての稲刈りは楽しかったようで、子ども達にとって貴重な体験となりました。また、ご家庭の食卓でも今回の稲刈りが農業や自然に関心を持つきっかけになることを願っています。



おにぎりの形のお手紙には「おにぎり会」への招待がありました！